



学ぶことの楽しさ

木枯らしに冬の訪れを感じる師走となりました。2学期も残りわずかとなり、これまで学習や行事を通して積み重ねてきたことを振り返り、次への準備を始める時期となりました。

先日、6年生と一緒に修学旅行で日光に行ってきました。慌ただしい日程でしたが、天候にも恵まれ、戦場ヶ原ハイキングや東照宮見学の他に子どもたちが企画・運営した部分も多く、仲間との絆を深める有意義な2日間となったようです。館岩自然の教室と違うのは、日光ならではの自然と、何といっても歴史に触れられる点ではないでしょうか。私が6年生を担任していた頃は、総合的な学習の時間が今より多くあり、日光についてグループで調べ学習をしてから修学旅行に行っていました。華厳の滝や湯滝、竜頭の滝、中禅寺湖にまつわる伝説、東照宮の歴史や謎について、それぞれのグループが調べたことを発表し、クイズにしたり、スタンプラリーにしたりして修学旅行を楽しみました。「なぜ竜頭の滝という名前なのか」「東照宮の柱を1本だけ逆さにしたのはなぜ?」事前にたくさん調べたことを、一つ一つ実際に見て確かめて、「わあ、本当だ!すごいね。」「あった、あった!思ったより小さいんだね。」と言っていた子どもたちの顔を今でもよく覚えています。女の子の一人が私のところに来て、「友だちと一緒に楽しかったけど、色々調べて、本物を見て、すごく楽しかった。」と言ったことは、私が「学び」というものを考える指針の一つとなった気がします。今回の修学旅行でも、「家康の墓でか!」「あったかーい。」と笑う子どもたちの顔や、陽明門や本殿を見ながら「これ全部手作り?すごいね。」と一緒に話す姿が見られて微笑ましく思いました。

最後に、先日ふと出会った言葉の一部を紹介します。

“学ぶことの楽しさ”子どもたちにたくさん味わわせてあげたいなと思います。



何で勉強なんかしなきゃいけないの?という質問に、母が机にコップを置いてこう答えた
「算数」を学べば、この中に200mlの水があるというように、数字で”見える”ようになり
「理科」を学べば、この水は水素と酸素からできていることが知れる
「社会」を学べば、この水がどこから来たのかがわかり、そして世界にはこのきれいな水を飲むことができない人たちがいることを知れる
… (中文省略) …

でももし、何も学ばなかつたらこのコップの中にあるのは「ただの水」で終わる
だから勉強するの

この世界をただ見ているだけの人生で終わらせない為に

(出典: 今治明徳中学校ブログ「母が息子に言った『深すぎる』勉強の本当の意味」)

本年多くの御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。子どもたちの笑顔を
支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。